



岡山大学

北東アジア経済研究

創刊号

岡山大学大学院文化科学研究科

# 北東アジア経済研究

Studies on North-East Asian Economies



岡山大学大学院文化科学研究科

Graduate School of Humanities and Social Sciences  
Okayama University

## 『北東アジア経済研究』の創刊に際して

文化科学研究科長

高橋 輝和

岡山大学大学院文化科学研究科は、1993年に文学部・文学研究科（修士課程）と法学部・法学研究科（修士課程）、経済学部・経済学研究科（修士課程）を母体にして設置された後期3年の博士課程のみの独立研究科ですが、設置以来11年を経過して21世紀に入った今日、激変しつつある社会状況や世界情勢に対処し得る教育・研究を実施するためには、教育・研究課題を明確に特定した上で、それに対応する教育・研究体制を確立することが不可欠であると考え、新たな社会的ニーズ、とりわけ国際社会から地域社会に至る様々なレベルにおける「共生社会の構築」、即ち「人間と人間の共生」「多文化の共生」「地域における共生」という喫緊の課題に対して人文科学と社会科学が複合的・学際的な取り組みを行い、そのための人材養成を行う必要があると判断しました。

そこで2004年度よりこれまでの人間社会文化学専攻と産業社会文化学専攻とを統合して社会文化学専攻とし、更に従来の3修士課程、つまり文学研究科・法学研究科・経済学研究科を統合・再編して当研究科の博士前期課程として社会文化基礎学専攻・比較社会文化学専攻・経営政策科学専攻の3専攻を設置することにしました。

当研究科では既に「人間と人間の共生」「多文化の共生」の歴史を検証し、現状を分析して、将来を構想する研究をスタートさせ、2002年度からは『文化共生学研究』を刊行して、その研究成果の一端を発表しています。

これに加えて北東アジア地域における共生的経済圏をいかに形成すべきかという火急の問題に取り組むために、今年度からは更に『北東アジア経済研究』を刊行する運びとなりました。

今日の北東アジア地域は歴史的条件と政治体制が様々であるために、経済的格差も極めて大きいのが実状ですが、それ故にこそまた大きな発展の可能性を秘めていることも事実であり、日本の将来にとってはこの地域の経済的発展とそれに伴う政治的安定が極めて重要な意味を持っていることを誰も否定することはできません。

このような意味において当研究誌に発表される研究成果が北東アジア地域における共生的経済圏の形成のみならず、更には日本・中国・韓国と東南アジア諸国連合（ASEAN）が25年以内の創設を目指している「東アジア共同体」の実現に関しても理論的・方法論的に寄与すると同時に、当研究科の学生の教育と研究指導にも反映されることを大いに期待しています。

目 次

『北東アジア経済研究』の創刊に際して…………… 文化科学研究科長 高橋 輝和 …… i

地域間労働移動と内生的経済変動の発生…………… 横尾 昌紀 …… 1

北東アジアにおける日本主要港  
 —神戸港低迷の空間的構図を中心に—…………… 津守 貴之 …… 17

地域の中小企業の国際化とマネジメント…………… 戸前 壽夫 …… 35

GTAPモデル（応用一般均衡世界貿易モデル）とその応用  
 —中日韓3国貿易自由化の効果分析への予備的考察…………… 藤 鑑 …… 49

特許引用と技術普及：東アジアのケース…………… 張 星 源・優 克 剛 …… 69

企業の技術革新行動の研究：脱成熟化における長虹の事例分析を通じて  
 ……………… 松田 陽一・李 一飛 …… 91

企業分析における統計手法の医薬品会社を例とした適用について  
 —日本の学生および北東アジアからの留学生のための教育題材として—  
 ……………… 長畑 秀和 …… 115

日本企業の対中国直接投資の現状について…………… 春名 章二 …… 145

世界的所得分布の推計と中国の所得分布：1996年…………… 吉田 建夫 …… 173

ロシア極東地域経済像へのアプローチ…………… 源河 朝典 …… 187

Some Properties of Higher-Order Voronoi Diagrams…………… Hidehiko KAMIYA …… 207

Coping with Uncertainty : A Toyotaization of the Chinese Carmaker Tianjin Xiali  
 ……………… Ji REN, Koichi SHIMIZU …… 217

編集後記…………… 編集委員会（松本 俊郎） …… 235

Contents:

On the Occasion of the Publishing of “Studies on North-East Asian Economies”  
 ……………… Terukazu TAKAHASHI, Dean …… i

Interregional Labor Mobility and the Occurrence of Endogenous Economic Fluctuations  
 ……………… Masanori YOKOO …… 1

Japanese Main Ports in North-East Asia…………… Takayuki TSUMORI… 17

Internationalization and Management of Regional Small and Medium-sized Enterprises  
 ……………… Hisao TOMAE… 35

An Application of GTAP (Global Trade Analysis Project) Model: A Preliminary Study on  
 Analysis of Economic Effects of FTA among China, Japan and Korea  
 ……………… Jian TENG… 49

International Knowledge Flows and Patent Citations: Some Findings from East Asian  
 Countries and Regions…………… Xingyuan ZHANG, Kegang YOU… 69

A Study on Technological Innovation in a Company: The Case of Sichuan Changhong Electric  
 ……………… Yoichi MATSUDA, Yifei LI… 91

On the Application of the Statistical Methods to Drug Manufacturing Companies  
 —As an Education Subject for Japanese and Northeast Asian Students—  
 ……………… Hidekazu NAGAHATA… 115

On the Foreign Direct Investment of Japanese Firms in China…………… Shoji HARUNA… 145

An Estimation of the World and China’s Income Distributions in 1996  
 ……………… Tateo YOSHIDA… 173

An Approach to Economic Vision of the Russian Far East Region  
 ……………… Tomonori GENKA… 187

Some Properties of Higher-Order Voronoi Diagrams…………… Hidehiko KAMIYA… 207

Coping with Uncertainty : A Toyotaization of the Chinese Carmaker Tianjin Xiali  
 ……………… Ji REN, Koichi SHIMIZU… 217

Editors’ Remarks…………… Editorial Board (Toshiro MATSUMOTO)… 235